

令和5年8月24日

美深町議会議長 南 和博 様

総務住民常任委員会委員長 小口 英治

### 所管事務調査報告

本委員会は、下記の事項について閉会中に所管事務調査を行ったので、会議規則第77条の規定により報告する。

#### 調査日

令和5年8月8日

#### 調査事項

高齢者福祉・介護サービス（特別養護老人ホーム・グループホーム等）の現状と課題について

#### 調査内容

- ① 町内各施設（入居・通所利用）の定員及び利用実績の状況と待機者数（デイサービス含む）
- ② 今後の町内施設基盤の整備、人材確保策、特別養護老人ホーム建替えについての事業の把握

#### 調査方法

聞き取り

#### 調査の内容

- ① 町内各施設（入居・通所利用）の定員及び利用実績の状況と待機者数について  
〔各施設の定員及び利用実績〕

平成30年度から令和4年度までの5年間の各施設の入所定員と平均入所者数、待機者数について、実績資料の提出を受けて調査した。

・特別養護老人ホームでは、令和2年度までは定員50人に対して平均して常時50人の入所であったが、令和3年度で平均47人、4年度においては平均45人と減少した。

これは入院や従事者不足による入所数の抑制が行われたことによるものとの説明であった。また、入所待機者数は、継続して平均30人で経過している。

・グループホームは2施設で定員合計45人（令和4年度に9人増）で、こちらも令和3年度（定員36人）まで平均して定員（36人）まで入所があったが、令和4年度は平均

入居39人で定員比6人の減となった。これは定数増がすぐに埋まらなかったこともあるが、こちらも従事者不足による入居抑制が行われたことによるとの説明があった。

- ・通所系利用サービスは4施設で行われ、定員の合計は43人である。

平均通所者数は合計で平成30年度33人、令和元年度34人、その後コロナの影響により令和2年度32人に減少したが、令和3年度と4年度は33人に回復している。

- ・短期入所など宿泊系利用サービスは3施設で行われ、定員の合計は20人である。

特別養護老人ホームの短期入所サービスでは、定員10人に対して、平成30年度平均で1日3.8人の利用があったが、令和4年度は0.5人とコロナの影響により減少が大きい。

#### 〔入所待機者等の状況〕

- ・令和5年6月の待機者の状況は、特別養護老人ホーム35人、グループホームは2施設で7人である。特養待機者35人の内訳は在宅5人、入院中9人、他施設に入所中21人となっている。グループホーム待機者7人の内訳はいずれも在宅である。

- ・従事者の人材不足のためと思われるが、待機者がいるにも関わらず定員を満たしていない実態がある。

- ・住所地特例者の状況では、町外からの特別養護老人ホーム入所者7人、美深町から町外への施設利用者は26人になっている。

## ② 今後の町内施設基盤の整備、人材確保策、特別養護老人ホーム建替えについての事業の把握

### 〔施設従事者の定員と配置状況、独自の人材確保策の状況〕

- ・各施設において職員の配置基準は満たしており、今のところ運営に大きな支障はないものの、一部で介護・看護職員の不足が生じている。

- ・社会福祉法人美深福祉会では、人材確保策として独自の奨学金制度（学校卒業後美深福祉会に勤務する条件で月額40,000円を貸与。貸与期間に1年を加えた年数勤務した場合に返済免除）を実施しているが、ほかには各施設とも人材バンクによる募集が主で、一部施設では外国人を雇用しているが、全施設とも雇用の面で苦慮している状況である。

### 〔特別養護老人ホーム建替えの概要〕

特別養護老人ホーム建替えの概要は入所定員50人から40人、短期入所10人から8人、デイサービス15人は変わりがないが、別運営を基本に検討している。

年度計画と事業費も示されているが、事業費がさらに増額になる懸念も生じているので、慎重な対応が必要である。

## 調査のまとめ

今回の調査は、美深町総合計画に搭載され、さきの第2回定例会において基本設計に向けた令和5年度補正予算が決定された特別養護老人ホーム建替えを契機に、関連する町内各施設の状況を合わせて調査を行った。

調査を通じて、近年の各施設の利用実績に加えて、従事者不足により入所制限がすでに発生している実態とともに、事業者による独自の人材確保対策も進められていることが明

らかになった。

また、特別養護老人ホーム建替えについては、50床から40床への縮小、短期入所の縮小、デイサービスの独立運営等の計画概要が示されたが、それに伴う運営体制や待機者の解消策、施設の個室化による入居費用の増加、多床室を含める検討をはじめ、町民の希望や心配が予想される事項について、今後の協議や対応が必要な課題も明らかになってきた。

令和2年に実施された所管事務調査から3年が経過したが、当時の調査報告でも町民が求めるのは必要な時期に入所できる状況であり、そのためには利用者の推移、将来の人口構成等を総合的に判断し、待機者の解消策を介護保険事業計画に示すべきとされていた。

今年度は第9期美深町高齢者保健福祉計画・美深町介護保険事業計画策定の年度でもあるが、上記の課題に対して調査時点では明確な考えが示されていない。

令和5年度に基本設計に着手し、6年度実施設計、7年度建設、8年度の運用開始の年度計画が示されているが、設計の内容をはじめとして、今後の建設、さらには運営開始に向けた多くの課題が想定される。

安心できる老後を送れるよう最大限の努力を傾注して様々な課題に取り組むべきであり、合わせて町民、自治会、地域ケア関係者、そして議会への情報提供や協議が時機を逃さずに行われよう望むものである。

資料① 施設の定員及び利用実績と待機者数、施設従業員と配置状況

(調査資料から抜粋(令和4年度))

**美深町特別養護老人ホーム**

施設・居住系サービス

定員	50人
平均入所者数	45人
平均待機者数	30人

宿泊系サービス(ショートステイ)

	平成30年度	令和4年度
定員	10人	
1日平均利用者数	3.8人	0.5人

施設従業員と配置状況

	施設長	計画作成担当者	生活相談員	事務員	介護職員	看護師
定員	1人	1人	1人	1人	22人	3人
配置	1人	1人	1人	0人	22人	3人
不足	0人	0人	0人	1人	0人	0人

**デイサービスセンターふれあい**

通所系サービス

定員	15人
平均通所者数	9人
平均待機者数	0人

施設従業員と配置状況

	管理者	生活相談員	看護職員	介護職員
定員	1人	1人	2人	2人
配置	1人	1人	2人	2人
不足	0人	0人	0人	0人

**グループホーム びふか**

施設・居住系サービス

定員	27人
平均入居者数	23人
平均待機者数	9人

通所系サービス

定員	3人
平均通所者数	3人
平均待機者数	0人

宿泊系サービス(ショートステイ)

定員	1人
平均利用者数	14人
平均待機者数	0人

施設従業員と配置状況

	管理者	計画作成担当者	介護職員	看護師
定員	1人	1人	32人	0人
配置	1人	2人	32人	0人
不足	0人	0人	0人	0人

**グループホーム 清の里美深**

施設・居住系サービス

定員	18人
平均入居者数	16人
平均待機者数	3人

施設従業員と配置状況

	管理者	計画作成担当者	介護職員
定員	2人	1人	16人
配置	3人	1人	12人
不足	0人	0人	4人

緑の大地 緑生苑

通所系サービス

定員	15人
平均通所者数	15人
平均待機者数	5人

宿泊系サービス（ショートステイ）

定員	9人
平均利用者数	9人
平均待機者数	5人

施設従業員と配置状況

	管理者	計画作成担当者	看護職員	介護職員
定員	1人	1人	1人	16人
配置	1人	1人	パート1人	13人
不足	0人	0人	常勤 1人	3人

デイサービスセンターやすらぎ

通所系サービス

定員	10人
平均通所者数	6人
平均待機者数	0人

施設従業員と配置状況

	管理者	計画作成担当者	看護職員	介護職員
定員	1人	1人	1人	4人
配置	1人	1人	1人	2人
不足	0人	0人	0人	2人

資料② 特別養護老人ホーム建替えの概要

- (1) 事業主体 社会福祉法人 美深福祉会  
 (2) 想定する施設規模

区分	内 容	現況
入所定員	40床（ユニット型2棟4ユニット）	50床
短期入所	8床（現状稼働率から6～8床）	10床
通所介護	特養と別運営を基本に検討	15人
	併設するなら別棟（独立運営）	

(3) 年度計画

第6次美深町総合計画における計画年度及び事業費

・令和5年度	基本設計	10,000千円	(36,080千円)
・令和6年度	実施設計	40,000千円	
・令和7年度	建設	1,000,000千円	
・令和8年度	運用開始、旧建物解体	36,000千円	